

大雨被害と堤防決壊

このテーマについては地元の佐々木功悦議員が一般質問で取り上げましたが、私も加勢する意味でいくつか質問します。7月15日未明から降り続いた記録的大雨によって県内各地で大きな被害がでました。涌谷町、美里町の名鱈地区の水田は、最大で8月10日までの25日間も水につかってしまった。この被害を決定的にしたのが16日午後2時半ころ、JR石巻線と交差する手前の出来川堤防の決壊であります。

江合川が危険水域となり、出来川に逆流するという事で明治水門を閉鎖して、2時間後に決壊したとのことです。

私も現地を何度か視察し、住民から話を伺いました。決壊箇所近くの鳥谷坂の方は「床上40cmまで浸水し畳数十枚を処分し、農機具も全部ダメになった、家の修繕費も相当かかった」。決壊した箇所はJR鉄橋の少し手前の未整備の土嚢を積んだ堤防です。住民の証言によると決壊の時のドカーンとすごい音がしてびっくりしたといます。

そこで伺います

- ①堤防が 27メートル決壊した要因をどのように分析しているのでしょうか、お答えください。
- ②本復旧はいつまでの完了見込みなのか
- ③また、現地を見て驚いたのですが、出来川のかなりの部分、特に決壊した所から江合川の下流部分に支障木が生い茂り土砂の堆積もひどいものです、専門家の調査でも指摘されていますがどう対策を考えているのかお答えください。
- ④涌谷、美里町にまたがる250ヘクタールのうち192ヘクタールが浸水した遊水地の稲作ですが石巻市河南地区の農家の78軒の方々も耕作してます。8月4日の河北新報県内版によればポンプ増設については「台数を増やしても効果があるのか不透明」と県が慎重姿勢を示す。と報道されてます、農家の方々は冠水した田んぼを眺めて水が一日も早く引くのを待っているのです。私はこの記事を見て愕然としました。

そもそも、県には自前の大型排水ポンプやパッケージ

型排水ポンプは何台所有しているのでしょうか、以前にも言ったかと思いますが、石巻市では数年前の水害被害の教訓から10基のポンプと5基の発電機を約1億円で用意しました。(毎分50立方の能力)。台風や線状降水帯も度々ですから、国交省頼みではなく緊急時に使用できる排水ポンプを県も確保しておくべきではないでしょうか、知事の決断を求めますがいかがですか。

⑤鳥谷坂のただ一か所の排水機場が水没し、現在は北上川下流事務所の水中ポンプで対応している。関係者からは一刻も早く再起動して欲しいとの声が出ていましたが県の決断で、災害復旧工事の看板が掲示され、工事が始まりましたが、本格復旧の完成時期と、排水能力は現在の毎秒2,75トンからどの位に拡大される見通しなのかお答えください。

⑥水が数日で引いたところの稲は十分持ち直しているものの、3週間以上も水に浸かった所は一面茶褐色で全滅、ま

た酷い所はサギやカラスの餌場になっている。収穫が期待出来る田んぼの草刈りをしていた石巻市の A さんに話を聞きました。「コメ専業農家で 7 町歩耕作している、3 年前にも出来川が越流し被害が出た、米価が下落し今度は水害と踏んだり蹴ったりだ、今の農機具が使用出来なくなれば買い替えは無理なので辞めるしかない、我々にも支援して欲しい」と訴えられました。農作物被害の出ている農家への次期作を種もみだけでなく園芸並みに肥料なども支援すべき思うがどうか、また法人や大規模農家だけでなくやる気のあるコメ作りの個別農家にも、農機具補助を市町と協力し是非具体化すべきと思うが伺います。

⑦、また美里町笹館地区に出来川の越水が大量に流れ込み住宅 12 棟が浸水し 6 世帯 11 人が救助される事態となりました。床上浸水数十センチから 1 メートル以上も冠水しました。やはり、町の排水ポンプが水没し被害が拡大した。住めないので転居した方や、200 万以上もかけてリフォームした方もいる、同地区の越水防止対策を早急に構じる

べきと思うが答弁を求めます。

⑧、美里町笹館地区も含めて、全壊世帯は全県で 3 世帯、大規模半壊は 4 世帯、中規模半壊は 21 世帯あります。ところが、国の被災者生活再建支援制度の対象にならず、県独自の恒久的な制度もないために、これらの被災世帯への支援金はありません。せめて、昨年と今年の福島県沖地震と同様に県独自の恒久的な支援金制度をつくり、救済すべきです。全額県が負担しても、最大 4,000 万円で済みます。知事の決断を求めます。また、一部損壊世帯は 985 世帯もあり、全体の 8 割にもなります。県独自で一部損壊世帯への支援策を講ずるべきです。併せて、伺います。

原発再稼働と次世代型原発の開発について

原発は制御出来ないエネルギーであることは福島第一原発事故で実証されているにもかかわらず、岸田内閣は 8 月 24 日、次世代型原発の開発と建設を検討する方針を打ち出

した。また、これまで再稼働した 10 基の原発に加え新たに女川原発など 7 基を再稼働し原則 40 年とされてきた運転期間の延長も指示した。原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長、吉原毅さんが 9 月 24 日の新聞で「老朽化した原発の原子炉が強い放射線にずっとさらされ、10 年 20 年と浴びると、もろくボロボロになるのは機械金属の知識では当たり前前の話。それを再稼働してしまうのは恐ろしいことです」と述べてます。

これは福島第一原発事故以来、原発の新增設と建て替え（リプレース）を「想定していない」としてきた従来の方針を大転換する暴挙であります。

また、運転期間の延長は国会審議を経た法令改正が必要で首相の一存では決められません。国民的議論を無視して行われたことも大問題であります。ウクライナ侵略を口実にエネルギー危機に対応するために原発を推進する事はもつての外であります。

核のゴミや負の遺産をそのままにして次世代型原発の検討という政府方針について、知事はどう考えているのか所見を伺います。

また知事は記者会見で「原発は有力なエネルギー源」と発言しているが、老朽化した原発を40年としてきたものを20年延長し、今度はさらに20年引き伸ばして80年間も運転可能とすることに何の疑問も持たないのですか、お答えください。

さらに2020年2月26日規制委員会は女川原発2号機の合格を出し、知事も県民世論の反対を押し切って、同年11月11日に地元合意を表明した。ところが東北電力は2号機の圧力抑制室の耐震補強が必要となり対策工事を2023年11月まで延長すると発表された。

サプレッションチェンバーの耐震補強工事はこれまで経験したことのない工事とされています。これは何のためのどういう工事なのか説明して伺います。

知事が県民の反対を押し切ってGOサインを出してから後になって、これが不十分でしたと国や東北電力に言われて、重要な補強工事を実施することを議会と県民にどう説明するのかお答えください。

この際、女川原発の安全性について、規制委員会や宮城県独自の「女川原子力発電所 2 号機の安全性に関する検討会」を再度開いて東北電力から説明を受ける必要があるんじゃないですか、違いますか伺います。知事が急いで地元合意を出した責任をどう考えているのか答弁を求めます。

私が先の 2 月議会で一般質問した福島原発 3 号機の

①可燃性ガスが発生し水素ガス爆発が、より威力増して上空まで巻き上げたメカニズムの解明について

②水素爆発が最上階の 5 階で起きていたと思われていたが、実は 4 階で最初に発生していたのではないかと言う二つの疑問です。

規制委員会では、これらの疑問を解明するために実証実験を指示したとのことですが、その後、新しい情報は届いて

いるのでしょうかお尋ねします。もし、新知見が出れば女川原発 2 号機の更なる追加工事が出てくる可能性があるということですね。伺います。

最後に女川原発の想定地震動について改めて伺います。女川原発は 1979 年着工しましたが最大地震動は 250 ガル、それが 2005 年 8 月の宮城県沖地震で 251, 2 ガルを記録し、その後全国の見直しで 580 ガルに改定。ところが 2011 年 3, 11 東日本太平洋沖地震で 567, 5 ガルを記録し基準地震動を 1000 ガルに見直し今日に至っています。問題は本当に 1000 ガルで大丈夫なのかという問題です。

2007 年 7 月 16 日に発生した新潟、中越沖地震はマグニチュード 6, 8 最大震度 6. 3 強。原発最地下部では 1000 ガルを越し、岩盤部では 1-4 号機が 2300 ガル、5-7 号機は 1200 ガルにもなったと言われています。

また、住宅大手メーカー、三井ホームの耐震設計は 5115 ガル、住友林業は 3406 ガルを基準にしています。

2014年5月、関西電力大飯原発運転差し止め判決を出した福井地裁の樋口英明裁判長は、この基準地震動の根拠を厳しく批判したのです。

知事はこの指摘をどう受け止めているかお答えいただきたいのであります。

統一協会と政治家、行政の関係について

安倍元首相の銃撃事件の背景となった統一協会について連日マスメディアで話題になり、国民の関心が高まっている。統一協会（世界平和統一家庭連合）は二つの顔を持っています。一つは靈感商法や集団結婚式などで甚大な被害を出している反社会的カルト集団の顔。もう一つの顔は、統一協会と表裏一体の政治組織「国際勝共連合」をつくり、反共と反動の先兵を務めてきたことです。

長年、統一協会を研究し追及してきたジャーナリスト柿田睦夫氏によれば1954年に韓国で教団が設立され、（日本では1959年設立）「一言でいえば反社会的カルト集団として聖書の教典をねじ曲げ、キリスト教会系

の宗教を装いながら集団結婚式を血統が文鮮明によって
清められる儀式と位置づけるものです」

また、教えの一つが「万物復帰」、この世の財はすべて
神のものであり文鮮明（ムン・ソンミョン）に「復帰」
させることは善であるという教えです。それが人をだま
し靈感商法の金集めの手口です。また、2007年発刊
のガイドブックでは「先祖が地獄で苦しんでいる」とし
て縄文時代までさかのぼり、先祖を開放するためと称し
て信者から多額の献金を集めています。

1967年、韓国で文鮮明（ムン・ソンミョン）と笹
川良一、児玉誉士夫、岸信介元首相らが集まって勝共連
合の日本導入を決めたのです。その後、この流れは安倍
晋太郎、そして安倍元首相らに引き継がれてきたと言わ
れています。

感想含め統一協会の反社会的行為について知事の所見
を伺うものです。

共同通信 9月17-18日最新の世論調査によれば岸田
内閣の支持率は42.2%と8月の前回と比べ13.9%

も急落し、内閣発足以来最低となった。特に自民党が統一協会と党所属国会議員の関係を公表した対応では「十分でない」との回答が80, 1%にもなった。

毎日新聞の世論調査では内閣支持率は29%、不支持は64%である。これは統一協会や国葬、円安物価高などに国民の不満批判が表れたものと言えます。

知事は7月25日の会見で自分と統一協会の関係はないときっぱり否定しました。しかし、知事就任直後に統一協会関連イベントに祝電を打った事実があります。仙台市内のホテルで開かれたもので宮城県知事として紹介されました。同じ時期に福岡では韓日男女2500組の集団結婚式が開かれています。結局、いくら弁解しようと客観的に宮城県知事として統一協会の関連団体に賛同連帯を表明し、お墨付きを与えた責任は免れないと思うがどうか、また9月6日に党県議団として県と関連団体との関係の調査を申し入れましたが、進展しているのか伺います。

もう一つ気になることがあります。ある新聞社（朝日）の取材で統一協会が全国の消費生活センターを回り、相談

内容の報告をもとめている事が判明しました。県の消費生

活センターに聞いたところ「特定事業者からの問い合わせはあったかどうかを含め言えない」との回答でした。統一協会からの問い合わせは、きっぱり拒否し、県民には事実を知らせるべきと思いますが答弁を求めます。

9月の共同通信のまとめによると統一協会と146人の自民党国会議員が接点があったと報道されています。また、アンケートに答えない議員が40人いたと。さらに、日本維新の会15人など合わせて38人も接点あったと答えています。結局、9月30日現在、統一協会側と接点があった自民党国会議員は180人となりました。

萩生田政調会長や山際経済再生担当大臣などは週刊誌などでも度々取り上げられ、渦中の細田博之衆院議長と統一協会との深い関係にも注目が集まっています。

宮城県選出では西村明宏大臣、土井亨衆議院議員、伊藤信太郎衆議院議員、桜井充参院議員、の名前が出ています、特に土井衆議院議員は9月12日のミヤネ屋、翌日の民放テレビで教団の動画サイトで大々的に取り上げられ

ました。統一協会のイベントに 5 回も出席し「真のお母様、韓鶴子（ハン・ハクチャ）様、この世界の混乱を收拾し統治できる方は韓鶴子総裁のみと確信してやみません。」よくぞここまで言ったものです。ところが教団主催の出席も記載なし。報告調査は極めて不十分と言えます。

土井衆議院議員は 2017 年 7 月の統一協会系の全国的イベント、ピースロード「東北実行委員長」を務めています。写真を見ますと自民党県会議員が何人か参加しています。「世界平和のための韓国と日本を海底トンネルで直結する事を実現する機運を盛り上げるため 7 月から大々的に 2 ヶ月間かけて自転車で全国を回るものです。この「日韓トンネル」は統一教会の創立者、文鮮明が 1981 年ぶち上げ金集めの絶好の口実にしようとするものです。私達、党県議団の調査によれば、2017 年「全国制覇の日韓トンネル推進会議として 47 都道府県で設立大会が開かれ宮城県では 2017 年 12 月 3 日、日立システムズホールで大規模に開催。反共政治団体の

梶栗正義勝共連合会長が講演、自民党県議が議長になって推進する事を決定。設立大会前の同年 6 月には唐津のトンネル掘削現場を自民党県議 5 人で政務活動費を支出し視察していたのです。

9 月 4 日の朝日新聞アンケート調査によれば全国の県会議員で統一協会と何らかの接点があったのは自民党県会議員 239 人に上ることがわかりました。統一協会、勝共連合が地方議会にまで影響を広げている実態、これも大変なことです。

知事は国会議員や県会議員と反社会的カルト集団としての統一協会との関係についてどのような認識を持っているのかお答えください。

私は石巻市会議員になる前の 30 歳頃、統一協会の高価な壺や高麗人参茶、押し売りの被害が地元で次々発生しました、クーリングオフを活用し契約を解除し、宣伝カーで被害防止を訴えて回りました、今思えば随分戦闘的だったものです、その後、統一協会も手を変え品を変え

巧妙に靈感商法を繰り広げてきたのです。

県として被害者救済と統一協会に関する相談窓口の設置、信者二世の生活相談やカウンセラー対策を実績ある弁護士や専門家の力を借りて立ち上げるべきと思うが答弁を求め壇上での質問とします。